

資料編

目次

1	地域福祉の拠点施設「コミュニティ(防災)センター」一覧	61
2	地区懇談会からの地域の課題と課題解決のための提案	62
3	市民アンケート調査からの現状と課題	67
4	新・草の根事業の実施状況	75
5	酒田市地域福祉計画策定に関する懇話会委員名簿	78
6	酒田市地域福祉計画策定に関する会議の開催状況	78
7	酒田市地域福祉活動計画策定委員名簿	79
8	酒田市地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	79

1. 地域の拠点施設「コミュニティ(防災)センター」一覧

平成22年4月1日現在

施設名称	所在地	電話番号
東禅寺コミュニティ防災センター	みずほ二丁目8番地の7	23-7481
宮野浦学区コミュニティ防災センター	宮野浦二丁目3番3号	31-2286
若浜学区コミュニティ防災センター	若浜町1番48号	26-9060
富士見学区コミュニティ防災センター	曙町二丁目68番地の3	22-4845
浜田学区コミュニティ防災センター	浜田一丁目10番3号	22-8411
泉学区コミュニティ防災センター	ゆたか二丁目2番地の11	34-0899
松陵学区コミュニティ防災センター	光ヶ丘三丁目1番1号	33-9100
港南学区コミュニティ防災センター	入船町3番15号	22-4473
琢成学区コミュニティ防災センター	北新町一丁目1番60号	26-7715
西荒瀬コミュニティ防災センター	宮海字新林660番地	34-3001
新堀コミュニティ防災センター	木川字アラコウヤ34番地	93-2001
広野コミュニティセンター	広野字上通232番地	92-3001
浜中コミュニティセンター	浜中字上村386番地の11	92-3004
黒森コミュニティセンター	黒森字草刈谷地57番地の2	92-2255
十坂コミュニティセンター	十里塚字村東山112番地の4	31-3094
東平田コミュニティ防災センター	生石字登路田8番地の1	94-2151
中平田コミュニティセンター	熊手島字中福島66番地	22-3001
北平田コミュニティセンター	漆曾根字千刈13番地	25-2101
上田コミュニティ防災センター	上野曾根字上中割49番地	25-2201
本楯コミュニティセンター	本楯字新田目87番地の1	28-3202
南遊佐コミュニティセンター	宮内字小楯62番地の1	28-2708
飛島コミュニティセンター	飛島字中村甲283番地	95-2001
観音寺コミュニティセンター	観音寺字寺ノ下41番地	64-2327
一條コミュニティセンター	市条字村ノ前25番地の3	64-2823
大沢コミュニティセンター	大蔵字ニタ子213番地	64-2824
日向コミュニティセンター	上黒川字家ノ東19番地の2	64-4913
南部コミュニティセンター	地見興屋字前割9番地の4	62-2942
山寺コミュニティセンター	山寺字見初沢165番地	62-2934
松嶺コミュニティセンター	字山田20番地の1	61-4365
内郷コミュニティセンター	相沢字鶴牧56番地	62-2933
田沢コミュニティセンター	田沢字道の外105番地	54-2542
東陽コミュニティセンター	北俣字仁助新田31番地の1	54-2211
郡鏡・山谷コミュニティセンター	郡山字上台134番地の1	54-2821
砂越・砂越緑町コミュニティセンター	砂越字楯之内60番地の1	52-3519
南平田コミュニティセンター	飛鳥字契約場80番地	52-3770

2. 地区懇談会からの地域の課題と課題解決のための提案について (主なもの)

(1) 見守り体制について

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○見守り体制はできているが、対象者以外でもいつながりが起こるか不安が絶えない。特に行事等に参加しない人や介護サービスが入っていない独居で元気な人が一番心配 ○見守りの対象となる世帯が多く、協力員だけでは回りきれない。 ○どこの誰であるのかを知ってもらわないと警戒されてしまう。 ○新・草の根事業の見守りをもっと積極的な事業にするために、もっと事業内容を周知徹底させる必要がある。特に若い世代に。 ○新聞配達員や郵便局などの社会資源を見守りのシステムとして実施できるよう連携できないか。 ○火災報知機等を付けても、本人の耳が遠ければ、隣人が気づかないと意味がない。常に隣が協力してくれるとは限らないところも問題だ。 ○プライバシーが問題でどこまで入っていけばよいかわからない。 ○地域で孤立しがちな高齢者を支援しようとしても、家族の協力が得られず、支援できない。 ○新草の根ネットワーク事業は実績がない。事業の継続の精査をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新・草の根事業の見守りネットワーク支援事業の活用 ○地域で支えるため、向こう3軒両隣りを大切にしていく。 ○目配りや情報交換、声かけ等を日常的な活動として取り組む。 ○ふれあい給食等を通じての安否確認の継続 ○自治会や民生委員、包括支援センター等の関係機関との連携 ○話を聞くだけでも大切な繋がりであるし、1歩離れた所から見守るのも、違和感を見つげだす有効な見守り。 ○孤立する家庭の交流の場の確保。食事会やお茶会など日常的なふれあい活動をもとに、交流の機会を増やす。良好な近隣との関係づくり。 ○見守る側の研修会の開催 ○見守り活動は、自治会役員だけではなく、一般住民に認められる事業とするため周知を図る。 ○住民相互の日常的な協力体制づくり。

(2) 地域の交流について

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の方は、移動手段が限られているので、イベントを企画しても集まりにくい。 ○孤立は高齢者である等年齢だけの問題ではない。 ○交流は盛んであるが、参加者の顔ぶれはいつも同じである。(参加者の固定化) 地域行事への参加がなく、地域で孤立している人がいる。 ○仲間づくりには老人クラブの活動が有効だが、新加入者が少なく高齢化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域行事に気軽に参加できるきっかけづくり、近隣との良好な関係づくり。 ○声かけや各年代に応じた繋がりをもっていくことが大切 ○回覧板による情報周知や近隣・友人による誘い合い。 ○高齢者が自分の力を活用できる活動や集まりをつくる。 ○地域の拠点ができることで、防災や子ども

<ul style="list-style-type: none"> ○個々の趣味がばらばらで交流事業内容に苦勞する。 ○子ども会以外の会議に若い人が出てこない。 	<p>の交流事業が進む。コミセンを活発に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い人がイベントを考えると参加者が多様になる。企画を通し参加者の掘り起こしをする。 ○地域活動に参加は、無理せず、考えを尊重する。できることをすればよい。
---	---

(3) 交通弱者・買い物弱者について

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○通院するのに公共の移動手段しかない。 ○医療費以上に移動に費用がかかる。 ○地区内の店舗が縮小したり、閉店したりして不便になった。 ○るんるんバスの利用の仕方や巡回コースがよくわからない。周知不足 ○デマンドタクシーがはじまったようだが、利用可能エリアを広げてもらいたい。 ○知り合いに頼んだり同乗したりして買い物しているのが現状。しかし事故などにあつたらと思うと心配 ○サロンを実施しているが、移動手段なく来れない人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政が公共機関の整備を行う。(例：るんるんバスの運行時間の検討等) ○るんるんバス、デマンドタクシーの周知強化 ○移動販売車や配達可能な店舗、食材配達業の利用 ○ヘルパー（有償含）の活用 ○移動販売車が来て、買い物が助かる。 ○何らかの移動支援の検討

(4) 災害時の不安や緊急時の対応について

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○プライバシーの関係で、世帯状況が分からず、安否確認が困難。特に自治会未加入者が難しい。 ○台帳を作ったが、リストに載っていない人もいる。実際の災害時に把握していない障がい者等が出るということはないか心配 ○要援護者は自分から名前を出してこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ご近所間で普段から濃い付き合いを行う。 ○マップ作りをし、自治会で安否確認の役割分担を決め、対応のマニュアル化を図る。 ○ネット交信で安否確認を行う。 ○自治会加入のメリットを知らせ、加入を呼び掛ける。 ○情報の共有と一元化。緊急時は、情報を開示できるとよい。 ○要援護者名簿を逐一更新していき、自治会組織を緻密に構築していく。
<ul style="list-style-type: none"> ○一人で避難できない人をどのように避難させるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時や緊急時用に独居者に笛を自治会で用意した。地域でできる事をする。

<ul style="list-style-type: none"> ○独居老人等の避難訓練は自治会員だけでは人数が不足で対応できない。 ○施設の場合、地域協定を結ぶよう言われるが、自治会として災害の体制をとれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害対応として、自主防災会で役割分担を決める。 ○学区の力を借りて災害時のシステムを作る。
<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の被害状況が不安 ○災害時の対応の仕方、役割が不明 ○自治会として災害を知らせるべきがない。 ○要援護者避難台帳の支援者になったが、研修や訓練をしていないので不安 ○避難場所が遠くて現実的でない。 ○自主防災組織等が災害時どこまで機能できるか不安 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に対する緊張感を持ち、地域の避難訓練に参加する。 ○災害マップの作成 ○半鐘をつける。○防災無線の整備 ○要援護者避難台帳の支援者への研修会や訓練の場の設定 ○自主防災組織の整備充実 ○自主防災組織に防災連絡員を置いた。青年部から担当してもらうことで、意識付けになる。
<ul style="list-style-type: none"> ○緊急通報システムは倒れていることを察知して通報してくれるものでないので不安 ○経費・協力員がネックになって設置までが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○携帯電話の利用 ○電気ポットなどで確認をとるシステム。

(5) 高齢者等の除雪について

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○除雪協力員の確保が困難 ○高齢者世帯の屋根の雪下ろし。 ○除雪対象者が除雪協力員に対し、過剰な期待を寄せ、対応ができない場合がある。 ○除雪される側、除雪協力する側双方に除雪の協力に対する意識に違いがあり、頼みにくくなったり、逆に礼もなくきちんとするよう言われたりする。 ○謝金の基準に不満。不平等 ○隣近所の助け合いが欠けてきた。 ○若い人が除雪をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○除雪活動への中学生等のボランティア活用を検討 ○除雪有償ボランティアの確保 ○機械での除雪 ○草の根の協力者による除雪 ○市やさしいまちづくり除雪制度の内容周知 ○同事業の謝金の基準の見直し。 ○除雪機の補助 ○地区で除雪の組織体制を整える。 ○通学路の除雪隊のようなものを、一人暮らしの人たちにも向ける。
<ul style="list-style-type: none"> ○排雪するところがない。 ○除雪の仕方が雑。塊を置いていく。 ○通学路、歩道の除雪がされず、危険 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者宅マークの利用 ○事前に自治会を通して除雪計画に盛り込む。 ○小道・歩道等の除雪

(6) その他（地域の課題・問題点など）

地域の課題	問題解決のための提案
<ul style="list-style-type: none"> ○見守り隊の下校時の対応が、範囲、時間が長く難しい。 ○後継者づくりが心配 	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代を育てる体制づくり。
<ul style="list-style-type: none"> ○地域に医者がない。 ○病院の待ち時間が長い。 ○短期間で退院、転院させられる。 ○認知症の方に対する対応の難しさ。 ○具合が悪いのに、次々急患が入り、何時間も待たせる。救急車で行かないダメだとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掛り付け医の往診 ○自治会単位の介護予防講座の実施
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者は広報や回覧板を意外と読んでいない。情報伝達手段を検討する必要がある。 ○高齢者のさらに高齢になり、老人クラブの維持が難しい。 ○包括の職員がもっと地域にでてきてほしい。 ○担当地区といっても、違う学区にあり場所の利便性が悪い。住民が気軽に話せる場所がほしい。 ○介護保険の手続きのやり方がわからない。 ○施設待機者が多い。○サービスの質がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○包括支援センターで待機状況や各家庭の状況を把握し、入所の相談の際に、空いている施設が分かるようにする。 ○自治会と包括の情報交換を行う。 ○サービス内容の情報提供を行う。 ○他の人と話をしたり、友達づくりができる場の提供。
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの一人遊びが多く、上下関係の付き合いがない。 ○DVなどの困りごとに地域では深く入れない。 ○ゲームの影響か生き物は生き返ると思っている子どもがいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの元気な挨拶は地域を活性化させる。 ○地域で解決できないケースは駐在に願います。
<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者の受け入れが自治会の反対で難しい。 ○障がい者の情報がプライバシーの関係で民生委員もわからないことがある。 ○情報の共有が話題になるが、知らずに情報が流れる場合があるので十分に注意が必要 ○個人情報をごどこまで出してよいか。情報の把握、共有が難しい。踏み込んだ見守り活動ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自立支援法の趣旨にのっとり、住民に対し理解を深めていくための啓蒙活動を行う。 ○住民が統一見解できるように明示する。 ○駐在所の警官が行う個別訪問調査との情報共有、民生委員へ調査権を与える。
<ul style="list-style-type: none"> ○仕事がない。 ○お金がない。 ○生活保護の申請は自分で行くというのは難しい。 ○自殺者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お金がなく困っている人に緊急的に助けるシステムを作る。 ○働く場を増やし、元気なまちになるような施策を行う。 ○生活保護申請は民生委員等と一緒に同行するなど地域でケア・アドバイスする。

<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化した空家・廃屋が多くなり、防犯、安全面などで管理に問題。雑草も繁茂し近隣の迷惑になっている。 ○飼い犬の糞の放置・飼い猫が野放しになり、糞をしていく。 ○最上川の川渚の樹木の伐採が他団体の反対でできず異臭がひどい。 ○民生委員、福祉協力員、自治会長、地域の活動をどのようにしていくか、役割がわからない。 ○なんでもボランティアでは物事はうまくいかない。一人で何役も受け持ち対応不可能 ○ボランティア活動に参加する人が少ない。 ○高齢化、認知症が多い。対応に苦慮 ○退院後が心配。 ○飛島の介護施設関係者やNPO関係者がいなくなったとき心配 ○地域を考慮した財政支援の配分を。不要な事業を廃止し、介護予防講座など必要な事業に配分する。 ○自治会役員の交代で一から始めなければならない。 ○社協会費を支払ってもらうことが難しくなった。 ○民生委員の活動単位と自治会の単位が異なる。整理が必要 ○高齢者が軽スポーツを楽しむ場所が少ない。 ○介護保険料が高い。施設増設も保険料に反映するので考えものだ。 ○各種制度の狭間にいる方の対応。仕事に就けず家庭内のトラブル発生が危惧される。 ○福祉サービスを利用しようとする人いない人にサービス提供をいかに行っていくか。 ○車椅子の単身老人は段差が大変 	<ul style="list-style-type: none"> ○先例資料を集め、情報提供をする。 ○自主的活動に支援できるシステムの構築 ○学区社協がレベルアップするため、事務局のあり方を行政で指導 ○高齢者が軽スポーツを楽しむ場所の整備 ○小学校などの空き校舎を活用する。 ○民生委員、福祉協力員、自治会長それぞれの仕事の分野の学習会をする。 ○ボランティアをあまり厳しくするとやる人がいなくなる。自分たちの地域のことは自分たちで守っていくという考えを皆が声を掛け合ってお互いに見守っていくことが大切 ○公益大生の力を活用する。 ○介護問題、成年後見制度、権利擁護など各種問題に対し、自立支援協議会を立ち上げ、そこに行けば情報が得られるようなシステム作りを行う。 ○子どもや老人のいたましい事故を未然に防ぐような体制作り。 ○地域に合ったものを地域に作っていく。 ○地域の実情に即した事業をコミ振単位で行う。
--	---

3. 市民アンケート調査からの現状と課題

第2期地域福祉計画策定にあたっての基礎資料とするため、各学区・地区社会福祉協議会を単位として全市域の市民2,000人を対象に、地域福祉に関する意識及び実態の調査を実施しました。

(1) ご近所づきあいについては、一定程度はありますが、その内容は希薄化しているといえます。

問	あなたと、ご近所の人との関係はどれに近いですか。		
	項目	計(人)	割合(%)
	1、何か困ったときに助け合う親しい人がいる。	570	29.4%
	2、お互いに訪問しあう程度の人がある。	258	13.3%
	3、立ち話や世間話をする程度の人がある。	601	31.0%
	4、挨拶をする程度の人がある。	293	15.1%
	5、民生委員や自治会役員など訪問してくれる人がいる。	125	6.4%
	6、ほとんど近所付き合いはない。	28	1.4%
	7、その他	13	0.7%
	無回答	51	2.6%
	合計	1,939	100.0%

(2) 9割以上の方が地域の行事、地域活動への参加経験があります。その活動内容は自治会の行事への参加が多くを占めています。

問	あなたが参加した地域の行事・地域活動等はどうのような活動ですか		
	項目(複数回答)	計(人)	割合(%)
	1、自治会の行事	1,471	75.9%
	2、婦人会活動	365	18.8%
	3、老人クラブ活動	442	22.8%
	4、祭り	779	40.2%
	5、子ども会活動	376	19.4%
	6、ボランティア活動	487	25.1%
	7、PTA活動	247	12.7%
	8、スポーツ団体・クラブ活動	332	17.1%
	9、各種サークル活動	208	10.7%
	10、冠婚葬祭の手伝い	92	4.7%
	11、防犯・防災活動	486	25.1%
	12、交通安全活動	317	16.3%
	13、教育・子育てに関する行事	183	9.4%
	14、趣味・娯楽の集まり	405	20.9%
	15、その他	21	1.1%

(3) 社会貢献は、地域での各種活動としての認識が高く、要援護者への直接的な活動は、認識として低いものになっています。

問	あなたが地域社会で貢献できることは何だと思えますか		
	項目	計 (人)	割合 (%)
	1、見守り・声かけ運動	1,003	17.4%
	2、環境美化活動	691	12.0%
	3、災害など緊急時の救助活動	606	10.5%
	4、地域のボランティア活動	642	11.1%
	5、地域行事への参加	1,071	18.6%
	6、コミュニティ振興会、自治会、老人クラブ等の運営	617	10.7%
	7、家事援助	116	2.0%
	8、寄付や募金	194	3.3%
	9、話し相手	295	5.1%
	10、福祉への関心を持つ	402	7.0%
	11、特にない・わからない	116	2.0%
	12、その他	16	0.3%

(4) 援助したい・してもらいたいことについては、各項目にあげた事項がほぼ均等な割合となっています。

問	今後のご近所との付き合いの中で、手助けしてあげたい、手助けしてほしいと思うことはありますか		
	項目	計 (人)	割合 (%)
	1、相談ごとの相手になる	1,254	19.9%
	2、買い物の手伝いや近所への外出に同行する	931	14.8%
	3、子どもを預かったり、公園での遊びの見守りなどをする	848	13.4%
	4、一人暮らしの高齢者や障がい者などの見守りをする	1,176	18.6%
	5、簡単な家の修繕や掃除・庭の草刈りなどを手伝う	977	15.5%
	6、病気など、緊急時に看病したり、医者を呼ぶなど手助けをする	1,095	17.4%
	7、その他	27	0.4%

- (5) 利用中の福祉サービスでは、通所介護（デイサービス）の3割をはじめ、短期入所生活介護（ショートステイ）、通所リハビリ（デイケア）など福祉施設を利用したサービスの利用の割合が多くなっています。

問	（あなたまたはご家族が、公的福祉サービス（支援）を利用している方に）それはどんなサービスですか		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（％）
	1、訪問介護（ホームヘルプ）	62	10.9%
	2、訪問	12	2.1%
	3、訪問看護	22	3.8%
	4、訪問リハビリ	14	2.5%
	5、居宅療養管理指導	11	1.9%
	6、通所介護（デイサービス）	189	33.1%
	7、通所リハビリ（デイケア）	57	10.0%
	8、短期入所生活介護（ショートステイ）	96	16.8%
	9、グループホーム	22	3.8%
	10、福祉用具の貸与、住宅改修費の支給	69	12.1%
11、その他	17	3.0%	

- (6) 在宅福祉サービスは、定期的な見守りや緊急時の通報システム、気軽に相談できる体制などへの要望が高くなっています。

問	あなたは、住み慣れた地域（家）で安心して生活を送るためにどんな支援が必要ですか。または必要だと思いますか。		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（％）
	1、家族や地域の方等による定期的な見守り	830	11.0%
	2、IT技術、通信技術を活用した見守り（安否確認システム）	228	3.0%
	3、緊急時の通報システム	786	10.5%
	4、日常生活（買い物やごみ捨て、除雪など）に関する公的な手助け	553	7.4%
	5、日常生活（買い物やごみ捨て、除雪など）に関する地域の皆さんによる助け合い	603	8.0%
	6、弁当等の配食事サービスや生鮮食料品の宅配サービスの充実・支援	375	5.0%
	7、交通弱者の移動支援（使いやすい公共交通の充実または地域ごとの移動ワゴン車の運行など）	475	6.3%
	8、地域での朝市等（生鮮食料品販売）の開催	118	1.6%
9、住宅のバリアフリー化に対する支援（手すりの設置やトイレの洋式便器への交換など）	394	5.2%	

10、寝たきりなどの介護状態にならないための介護予防の支援（高齢者の交流を促進する講座や軽スポーツ大会、閉じこもり防止対策など）	699	9.3%
11、掃除、洗濯、料理などの家事援助	292	3.9%
12、着替え、排せつ、入浴、食事などの身体介護	237	3.2%
13、訪問診療、訪問介護、リハビリテーション	401	5.3%
14、在宅で介護する人、される人に対する支援	695	9.2%
15、気軽に福祉について相談できる体制の整備、わかりやすい情報の提供	816	10.8%
16、その他	22	0.3%

（7）全体の4分の1の方が「不安はない」と回答されていますが、「公共交通機関」、「近隣との人間関係」、「福祉サービス」に対する不安(不満)がみられます。

問	あなたが住んでいる地域の中で不安（不満）に感じていることは何ですか。		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（％）
	1、近所の人との人間関係について	261	13.1%
	2、住宅・生活環境について（バリアフリー化の必要がある等）	138	6.9%
	3、公共交通機関について（バス・タクシーが使いにくい等）	300	15.1%
	4、教育について（近くに学校がなくなった、塾がない等）	47	2.4%
	5、商業・娯楽施設について（近くに商店がない等）	233	11.7%
	6、子育て環境について（産婦人科、小児科、保育所が少ない等）	85	4.3%
	7、医療について（近くに診療所がない、特定疾患を見てくれる医者がない等）	104	5.2%
	8、福祉サービス	268	13.5%
	9、不安はない	481	24.2%
10、その他（ ）	72	3.6%	

(8) 相談相手・相談窓口がない方は、約2%と低い割合となっており、家族以外の相談先として、友人・知人、民生委員・児童委員が多くなっています。

問	もし、あなたが様々な場面で困ったときに、家族以外の誰に相談しますか。		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（%）
	1、友人・知人	1,306	41.4%
	2、職場の同僚・上司	159	5.0%
	3、市役所	426	13.5%
	4、医療機関の窓口	220	7.0%
	5、社会福祉協議会	199	6.3%
	6、民生委員・児童委員	428	13.6%
	7、自治会役員	283	9.0%
	8、相談する人がいない、どこに相談したらいいのかわからない	71	2.2%
	9、その他（ ）	62	2.0%

(9) お困り事は、介護保険サービス対象外の家事援助となる「大掃除」、「除雪」などをあげる方が多くなっています。それに続いては、「大きいものや重いものの買い物」、「食事の準備・調理」があげられています。

問	（日常生活を送る上で、お困りのことが「ある」と回答した方に）それはどんなことですか。		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（%）
	1、食事の準備（調理）	29	8.7%
	2、日常的な掃除	16	4.8%
	3、大掃除（日常的ではないもの）	41	12.2%
	4、洗濯	7	2.1%
	5、通院や買い物のための外出	26	7.8%
	6、除雪	58	17.3%
	7、大きいものや重いものの買い物	33	9.9%
	8、布団干し	17	5.1%
	9、暖房器具への灯油入れ	14	4.2%
	10、ごみ捨て	9	2.7%
	11、預金の出し入れや税金等の支払い	20	6.0%
	12、市役所等から書類を読むことや記入すること	25	7.5%
	13、相談相手（話し相手）がいないこと	12	3.6%
	14、その他（ ）	27	8.1%

- (10) 9割以上の方が、自動車を利用して買い物をされています。バス・タクシー等の公共交通機関利用は約2%にとどまっており、そのほか自転車利用が約3%となっています。

問	(歩いていくことができる食料品等の日用品を買い物する場所が「ない」方に) 買い物に行く交通手段は、なにですか。		
	項目	計 (人)	割合 (%)
	1、自動車 (自分で運転)	550	86.5%
	2、自動車 (同居の家族に乗せてもらう)	38	6.0%
	3、自動車 (別居の家族に乗せてもらう)	6	0.9%
	4、自動車 (近所の方や友人に乗せてもらう)	1	0.1%
	5、バス	8	1.3%
	6、タクシー	4	0.6%
	7、自転車	17	2.7%
	8、買い物には行かない (家族や近所の方に必要なものを買ってきてもらう)	8	1.3%
	9、その他 ()	4	0.6%

- (11) 権利擁護については、7割以上の方に周知されていない状況にあります。

問	あなたは、「権利擁護」という言葉を知っていますか。		
	項目	計 (人)	割合 (%)
	1、意味も含めて知っている	417	21.5%
	2、言葉だけ聞いたことがある (内容は知らない)	637	32.9%
	3、聞いたこともない	774	39.9%
	無回答	111	5.7%

- (12) 高齢者・障がい者の生きがいづくりに必要なことは、ボランティア活動への支援体制整備、ボランティア活動の取り組みの重要性をあげています。それにつづき、就労のための支援、障がい者への偏見を解消するための活動支援の順となっています。

問	高齢者・障がい者が社会貢献を行うなど生きがいをもって生活するために必要だと思われることをお答えください。		
	項目 (複数回答)	計 (人)	割合 (%)
	1、ボランティア活動に参加するための情報提供と相談・応援体制をつくる	735	23.0%
	2、就労のための情報提供と相談・応援体制をつくる	436	13.6%
	3、高齢者・障がい者の就労をコーディネートする個人や団体の育成	369	11.5%
	4、事業主への雇用促進の働きかけ	327	10.2%
	5、高齢者・障がい者をサポートするNPO・ボランティアへの活動支援	484	15.1%
	6、障がい者への周囲の偏見をなくすための活動支援	534	16.7%
	7、特にない・わからない	299	9.3%
	8、その他 ()	19	0.6%

(13) 社会福祉協議会は、6割程度の方に周知されています。

問	あなたは、「社会福祉協議会」についてご存じですか。		
	項目	計（人）	割合（％）
	1、よく知っている	455	24.7%
	2、だいたい知っている	687	37.2%
	3、名前は聞いたことはあるが、活動内容は知らない	612	33.2%
4、全く知らない	91	4.9%	

(14) 学区・地区社協については、3割程度の方の周知にとどまっています。

問	酒田市社会福祉協議会では、小地域（おおむね小学校区）単位で住民が中心となり福祉活動に取り組んでいくため、「学区（地区）社会福祉協議会」の設置、運営を進めています。この「学区・地区社協」があることをご存知ですか。		
	項目	計（人）	割合（％）
	1、名前も活動の内容もよく知っている	612	31.6%
	2、名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない	776	40.0%
	3、名前も活動の内容も知らない	422	21.8%
無回答	129	6.6%	

(15) 学区・地区社協に対しては、高齢者に対する各種の取り組みが期待されています。

問	学区・地区社協に取り組んでもらいたい活動としては、どのようなものがありますか		
	項目（複数回答）	計（人）	割合（％）
	1、子どもとその親の支援活動	239	6.2%
	2、小中学生の福祉体験活動	335	8.6%
	3、母子・父子福祉への支援活動	204	5.3%
	4、高齢者と子どもの世代交流	434	11.2%
	5、高齢者の福祉体験活動	397	10.2%
	6、孤立しがちな高齢者の介護予防	615	15.9%
	7、住民交流・世代交流	463	12.0%
	8、障がい（児）者の交流	245	6.3%
	9、児童健全育成のための環境保全活動	259	6.7%
	10、防災活動	386	10.0%
	11、防犯活動	280	7.2%
12、その他	15	0.4%	

(16) ボランティア活動などについては、5割以上の方が参加経験があるか参加を希望しています。関心がない方は、約5パーセントと少ない状況です。

問	ボランティア活動、NPO活動、市民活動等に参加したことありますか		
	項目	計(人)	割合(%)
	1、活動や催しに参加したことがある	651	33.6%
	2、活動や催しに参加したことがない	540	27.8%
	3、以前は活動に参加していたが、現在は全く参加していない	129	6.7%
	4、知人や家族が活動や催しに参加している又は参加したことがある	88	4.5%
	5、参加したことはないが、今後機会があれば参加したい	271	14.0%
	6、関心がない	104	5.4%
	7、その他()	12	0.6%
	無回答	144	7.4%

(17) 快適なまちづくりへの要望としては、公共施設のバリアフリー化や公共交通機関の整備への要望が多くなっています。また、高齢者及び障がい者福祉などへの住民意識の向上の必要性があげられています。

問	安全で快適なまちづくり(高齢者や障がい者が支障なく生活できる環境)を進めるために必要と思われることをお答えください。		
	項目(複数回答)	計(人)	割合(%)
	1、段差のない広い歩道の整備	922	17.6%
	2、音声案内標識・点字ブロック等の設置	252	4.8%
	3、日常の足となる公共交通機関の整備	893	17.1%
	4、電車・バス等の車両のバリアフリー化の促進	199	3.8%
	5、公共施設のバリアフリー化の促進(トイレの洋式化、ベビーキープの設置、授乳室の充実等)	435	8.3%
	6、高齢者や障がい者が安心して暮らせる住宅の整備	502	9.6%
	7、車椅子対応の駐車場やトイレの整備	374	7.2%
	8、自宅の手すり設置・段差解消等バリアフリー化への助成	532	10.2%
	9、盲導犬、聴導犬等の育成と受け入れ施設の拡充	206	3.9%
	10、高齢者及び障がい者福祉への住民意識の向上	793	15.2%
	11、特にない・わからない	100	1.9%
	12、その他()	19	0.4%

4. 新・草の根事業の実施状況

学区地区 社 協	見守り支援事業									合同研修		
	ネットワーク対象者数			福祉隣組数			福祉協力員数			回 数		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
琢 成	481	567	609	443	430	455	24	24	24	2	2	2
浜 田	297	362	346	262	300	283	26	27	27	2	3	3
若 浜	139	184	167	137	161	147	18	18	18	2	2	2
富士見	67	99	97	47	61	77	10	11	11	2	2	2
亀 城	177	240	201	110	110	255	15	16	16	2	2	2
松 原	95	101	101	66	83	83	18	17	17	2	2	2
港 南	163	207	207	114	101	101	11	11	11	2	3	2
松 陵	131	148	252	136	126	221	15	15	15	2	2	2
泉	45	66	62	64	67	64	11	11	10	2	2	2
宮野浦	103	127	110	146	140	125	13	14	14	2	2	2
飛 島	34	38	36	34	33	31	6	6	6	2	2	2
西荒瀬	25	24	22	25	21	20	7	8	9	2	2	2
新 堀	60	77	77	110	111	111	10	11	11	2	2	2
広 野	16	28	26	21	43	40	10	11	11	2	2	2
浜 中	14	15	15	30	34	34	8	8	8	3	2	2
黒 森	14	29	27	19	14	12	7	7	7	2	2	2
十 坂	37	58	44	46	38	35	9	10	10	2	2	2
東平田	19	20	39	22	20	47	4	4	4	2	3	3
中平田	31	48	63	25	27	23	8	9	9	2	2	2
北平田	22	22	23	24	18	31	3	4	4	2	2	1
上 田	33	50	58	54	70	83	10	10	10	2	2	2
本 楯	48	55	54	58	67	67	9	9	9	2	2	2
南遊佐	28	33	34	44	46	48	9	9	9	2	2	2
小 計	2,079	2,598	2,670	2,037	2,121	2,393	261	270	270	47	49	47
一 條	38	38	38	28	30	30	28	33	33	2	2	2
観音寺	67	67	67	56	54	54	56	57	57	2	2	3
大 沢	21	25	25	21	23	23	21	26	26	2	2	3
日 向	26	28	28	29	29	29	29	31	31	2	2	2
小 計	152	158	158	134	136	136	134	147	147	8	8	10
南 部		13	15							2	2	2
山 寺		19	23							2	2	2
松 嶺		57	64							2	2	2
内 郷		23	38							2	2	2
小 計		112	140							8	8	8
田 沢			30							5	4	3
東 陽			36									3
郡鏡・山谷			17									2
南平田			22									3
砂越・砂越 緑町			31									3
小 計		85	136							5	4	14
合 計	2,231	2,953	3,104	2,171	2,257	2,529	395	417	417	68	69	79

学区地区 社 協	合同研修			ふれあい給食						地域交流		
	延人数			回 数			延人数			回 数		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
琢 成	189	133	138	6	6	6	406	471	490	49	50	81
浜 田	126	179	174	14	14	14	658	651	668	11	11	11
若 浜	86	86	89	10	10	10	399	377	447	47	50	90
富士見	93	93	93	6	6	6	235	284	304	33	31	32
亀 城	108	89	84	6	6	6	410	410	413	15	14	14
松 原	84	99	101	7	7	7	199	214	226	17	18	17
港 南	86	81	69	6	6	10	660	680	667	10	10	10
松 陵	76	79	84	6	10	6	260	275	260	90	14	12
泉	67	67	67	9	9	9	96	92	82	10	10	10
宮野浦	79	80	86	6	6	6	240	240	240	11	11	11
飛 島	18	19	33	3	3	3	34	38	34	10	10	13
西荒瀬	65	58	30	7	7	7	167	198	180	128	70	74
新 堀	61	58	57	6	6	6	222	234	234	15	23	10
広 野	61	64	30	6	6	6	70	88	77	15	10	10
浜 中	82	32	34	2	2	2	50	50	50	10	10	10
黒 森	30	30	30	2	2	2	40	105	42	10	10	12
十 坂	44	46	44	4	4	4	143	148	132	11	10	10
東平田	52	54	22	3	3	3	105	105	105	18	29	11
中平田	53	62	59	6	6	6	50	50	50	15	15	15
北平田	50	39	21	5	5	5	60	59	61	14	15	14
上 田	62	31	20	6	6	6	100	100	70	14	18	12
本 楯	79	79	78	6	6	6	117	123	129	60	10	10
南遊佐	47	53	67	5	5	5	100	100	100	10	10	10
小 計	1,698	1,611	1,510	137	141	141	4,821	5,092	5,061	623	459	499
一 條	56	43	66	3	3	3	95	95	90	10	10	64
観音寺	67	72	106	3	2	2	95	95	95	11	11	57
大 沢	186	40	45	5	5	3	95	95	95	10	10	59
日 向	44	42	31	3	2	3	107	95	95	10	10	33
小 計	353	197	248	14	12	11	392	380	375	41	41	213
南 部	38	37	50	6	6	6	98	110	107	10	10	10
山 寺	32	32	28	5	6	6	96	96	68	10	10	12
松 嶺	50	52	52	6	6	6	122	122	151	14	14	14
内 郷	34	44	42	6	6	6	95	107	73	10	10	10
小 計	154	165	172	23	24	24	411	435	399	44	44	46
田 沢	153	405	63	2	2	2	190	192	38	432	469	53
東 陽			58			2			52			82
郡鏡・山谷			35			2			31			13
南平田			38			2			35			25
砂越・砂越 緑町			64			3			75			82
小 計	153	405	258	2	2	11	190	192	231	432	469	255
合 計	2,358	2,378	2,188	176	179	187	5,814	6,099	6,066	1,140	1,013	1,013

学区地区 社 協	地域交流			地域あんしん			介護予防					
	延人数			回 数			回 数			延人数		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
琢 成	1,097	1,140	1,605	30	24	24	8	8	8	324	402	332
浜 田	541	487	627	52	24	32	8	8	8	272	290	339
若 浜	1,006	1,241	1,338	24	24	24	8	8	7	271	214	189
富士見	959	898	904	24	24	24	8	8	8	321	222	267
亀 城	241	308	266	28	56	28	8	8	7	199	185	244
松 原	381	489	440	24	24	24	8	8	7	392	254	284
港 南	294	315	320	24	24	24	8	8	8	287	282	272
松 陵	1,113	246	344	24	24	24	8	8	8	266	296	265
泉	1,170	1,857	1,936	24	24	24	8	8	6	213	240	188
宮野浦	338	363	345	25	24	24	8	8	8	196	183	168
飛 島	242	247	477	27	24	24	3	3	4	76	103	132
西荒瀬	1,189	425	806	24	24	24	8	8	8	227	213	194
新 堀	393	603	162	24	24	24	12	12	10	330	365	307
広 野	504	795	793	24	24	24	8	8	8	619	580	484
浜 中	391	272	252	24	24	24	8	8	6	244	227	177
黒 森	566	1,278	1,724	24	24	24	8	8	8	273	298	251
十 坂	394	358	924	24	24	24	8	8	8	359	368	364
東平田	449	578	749	24	24	24	8	8	6	183	184	133
中平田	993	158	160	24	24	24	8	8	6	212	226	147
北平田	586	521	563	24	24	24	8	8	6	113	165	164
上 田	465	376	519	24	24	24	8	8	8	244	213	192
本 楯	1,024	1,024	867	36	24	24	8	8	8	202	198	184
南遊佐	169	186	181	24	24	24	8	8	6	271	301	195
小 計	14,505	14,165	16,302	606	584	564	183	183	167	6,094	6009	5,472
一 條	196	210	980	24	24	24	20	20	15	292	188	194
観音寺	247	230	1,429	24	24	24	26	26	19	386	311	295
大 沢	149	216	818	24	24	24	8	8	7	112	93	122
日 向	219	218	567	24	24	24	20	15	11	160	141	172
小 計	811	874	3,794	96	96	96	74	69	52	950	733	783
南 部	643	592	588	24	24	24	8	8	6	274	281	218
山 寺	450	413	457	24	24	24	8	8	6	126	136	113
松 嶺	268	362	342	24	24	24	8	8	6	229	297	186
内 郷	298	276	278	24	24	24	8	8	6	194	214	132
小 計	1,659	1,643	1,665	96	96	96	32	32	24	823	928	649
田 沢	5,484	5,916	560	50	54	24	16	16	6	466	419	83
東 陽			992			24			6			109
郡鏡・山谷			167			50			6			126
南平田			332			24			6			69
砂越・砂越 緑町			1,614			24			6			114
小 計	5,484	5,916	3,665	50	54	146	16	16	30	466	419	501
合 計	22,459	22,598	25,426	848	830	902	305	300	273	8,333	8089	7,405

5. 酒田市地域福祉計画策定に関する懇話会委員名簿

(敬称略：50音順)

No.	委員名	推薦団体等
1	池田 彦為	酒田手をつなぐ育成会
2	池田 美榮	公募委員
3	石澤 透	酒田市地域包括支援センター運営協議会
4	佐々木 亨	酒田市松山地区自治会連合会
5	佐藤 春好	公募委員
6	佐藤 弥市	酒田市老人クラブ連合会
7	佐藤 好久	酒田市地区自治会連合会
8	高橋 陽一	酒田市民生委員・児童委員協議会連合会
9	◎武田 真理子	東北公益文科大学
10	富田 ユリ子	酒田市ボランティア連絡協議会
11	宮田 浩一	酒田市子ども会育成連合会
12	○山川 源吉	酒田市自治会連合会

◎会長 ○副会長

6. 酒田市地域福祉計画策定に関する会議の開催状況

酒田市地域福祉計画策定に関する懇話会

第1回懇話会 平成22年 7月30日

第2回懇話会 平成22年12月 2日

第3回懇話会 平成23年 2月 9日

酒田市地域福祉計画策定委員会

第1回委員会 平成22年11月17日

第2回委員会 平成23年 1月13日

7. 酒田市地域福祉活動計画策定委員名簿

(敬称略:50音順)

No.	氏名	役職名	所属部会
1	○梅木 教六	松山手をつなぐ育成会会長	地域福祉・ボランティア
2	堅田 榮作	港南学区社会福祉協議会	総務財政
3	◎加藤 勝記	酒田市社会福祉協議会会長	総務財政
4	後藤 正利	酒田市八幡自治会長会会長	総務財政
5	小松 満	酒田市母子福祉ねむの木会会長	介護保険
6	佐々木 亨	酒田市松山地区自治会連合会会長	介護保険
7	佐藤 恒	酒田市八幡遺族会会長	地域福祉・ボランティア
8	高橋 陽一	酒田市民生・児童委員協議会連合会会長	共同募金
9	田中 四郎	酒田市自治会連合会副会長	共同募金
10	富田 ユリ子	酒田市ボランティア連絡協議会会長	地域福祉・ボランティア
11	長谷部 久雄	酒田市平田地域自治会連絡協議会会長	総務財政
12	梁瀬 吉弘	泉学区社会福祉協議会会長	介護保険
13	山川 源吉	酒田市自治会連合会会長	地域福祉・ボランティア

◎委員長 ○副委員長

8. 酒田市地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

酒田市地域福祉活動計画策定委員会

第1回委員会 平成22年 8月24日

第2回委員会 平成22年12月14日

第3回委員会 平成23年 2月22日